

HOPEplus

[市立芦屋病院だより]



事業管理者
新年あいさつ ゆらぐグローバリズム

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

昨年はオリンピック・イヤーであり、アメリカ合衆国の大統領選挙の年でもありました。世界のオピニオンリーダーであり、「世界の警察官」をはじめてきた大国は、かつて「アメリカがくしゃみをすると日本は風邪をひく」とか「日本はアメリカの51番目の州である」と言われたくらい我が国と深い関係があります。そのアメリカが先頭に立って推進してきたいわゆるグローバリズムは国家の枠を超えて世界の一体化を進める思想です。地球環境保全や国際テロ対策などの面はともかくとして、経済分野におけるグローバリズムは自由貿易や市場主義経済を拡大しようとする動きです。TPP(Trans-Pacific Partnership)協定はその一つと言えますが、ここに来てその雲行きがおかしくなっています。

お互いの個人的中傷誹謗に終始した感の米大統領選挙戦でしたが、ことTPPに関してはクリントン、トランプ両候補とも反対を表明しました。従来ケインズ経済学的大きな政府を主張してきた民主党はオバマ前大統領がTPPを主導したにもかかわらずクリントン候補は同意しませんでした。一方、新自由主義的小さな政府を尊奉してきた共和党のトランプ候補がTPPに強力に反対を表明しました。このような風潮は、少なくとも経済モデルにおいてアメリカがナショナリズムあるいはローカリズムへの転向を模索しているように思われます。昨年のヨーロッパにおけるニュースの一つ、イギリスのEU(欧州連合)からの離脱もまた同様の流れではないでしょうか。そしてトランプ大統領の登場です。

我が国においては、新自由主義経済を信奉する小泉純一郎首相時代に高い支持率を背景に郵政民有化など大ナタを振るいました。口の悪い評論家は「小泉構造改革は日本をアメリカ政府好みに改造する」ための改悪であったと論評しています。とはいえ財政再建と景気回復を両立させた手腕は評価されます。しかし、こと医療政策に関しては、昨今の「医療崩壊」を生み出した新自由主義的政策による医療制度改革を行い、給付費抑制、患者負担増加など悪名高い政権でした。さて「安倍一強」と言われる現政権の医療政策に小泉政権の悪夢が重なって見えてしまうのは私だけでしょうか。

地方自治体の病院である市立芦屋病院としては、グローバリズムを視野におきつつローカリズムに徹して、今年も地域住民に最善の医療と癒しを提供してまいります。



陸田 誠一氏 撮影

休日がん検診 の開催

平日は忙しい方も、日曜日にがん検診が受けられます！
早期発見のため、是非この機会にご受診ください。

※検診無料クーポン券を利用出来ますので、お持ちの方は必ずご持参ください。

- 乳がん検診（触診のみ 30歳～39歳までの市民）……… 400 円
- 乳がん検診マンモグラフィー併用（40歳以上の市民）… 2,000 円
- 子宮頸がん検診（問診・細胞診 20歳以上の市民）…… 1,000 円
- 胃がんリスク評価（採血）…………… 4,860 円
- 肺がん検診（CT）…………… 8,640 円
- 大腸がん検診（便潜血）…………… 1,620 円
- 肝炎ウィルス検診（採血）…………… 3,600 円

日 時 2月19日(日) 午前9時～正午

会 場 市立芦屋病院

申込み 下記まで(事前予約制)

問合せ 市立芦屋病院 医事課検診担当
TEL 0797-31-2156(代表)



教えてDr!

禁煙外来へようこそ！ ～一緒に治療を始めませんか？～

内科 間瀬 浩史

喫煙は、肺癌や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患のみならず、全身の様々な悪性腫瘍、脳卒中や心筋梗塞などの危険因子です。また、喫煙による健康被害は喫煙者自身にとどまらず、周囲の人々にも及びます。禁煙により病気のリスクが低下する事は知られていますが、タバコはなかなかやめられません。それは決して意思が弱いからではなく、「ニコチン依存症」という治療が必要な病気なのです。

禁煙外来では、禁煙補助薬（バレニクリン、ニコチンパッチ）を活用しながら、無理なく禁煙できるよう、医師や看護師がカウンセリングやサポートを行っております。

禁煙に意欲はあるが自信がないという方、今すぐ禁煙をしたいという方、始めてみませんか？一緒に頑張りましょう！

禁煙治療を保険診療で受けるには一定の基準があります

- ・直ちに禁煙することを希望している
- ・ニコチン依存症である（スクリーニングテストを受けていただきます）
- ・プリンクマン指数（1日の平均喫煙本数×喫煙年数）が200以上である（35歳以上が対象）
- ・禁煙治療について説明を受け、文書で同意している
- ・過去に保険適用の禁煙治療を受けてから1年以上が経過している

禁煙外来
毎週木曜日
午後1時より診察
(原則予約制)

1.17を忘れない～市立芦屋病院の災害備蓄食について～

栄養管理室

阪神淡路大震災当時は備蓄食が普及していました。

そのため、ライフラインが復旧されるまでの間、皆さまのご支援により、食事を途切れることなく提供することができました。あれから22年が経過し、当院では災害時に備え食材・飲料水の備蓄を行い、職員による炊き出し訓練を実施しております。また、備蓄食材についても定期的に食事の一部として活用しています。

このように定期的に災害時の訓練を兼ねた食事提供を行い、非常食の評価を行うことでいざという時の安心につながっています。



薪を時計型ストーブ
して活用で
きます

非常食の一例を紹介

1 食 目	カロリーメイト ロングライフビスケット
	野菜ジュース5年
	保存水
2 食 目	ビスケット
3 食 目	野菜ジュース3年 野菜粥 果物缶

インターネットを活用した地域連携が始まっています ～病診連携システムのご紹介～

問い合わせ先
地域連携室
☎ 31-2156

当院では患者さんの診療情報をかかりつけ医である地域の診療所と共有するために「病診連携システム」を導入しています。これは当院に保管されている検査データや画像データなどの診療情報を高度に暗号化してインターネットで結び、医療機関相互で共有することにより、診療に役立てるための仕組みです。システムの活用により当院とかかりつけ医双方の情報共有を図ることができるようになり、より質の高い医療を提供することが可能となります。かかりつけ医がシステムを利用して診療情報を参照するには必ず患者さん本人の同意が必要となります。詳しくは地域連携室までお尋ねください。



素敵なクリスマスツリーが届きました

昨年12月10日、当院に素敵なおもてなしクリスマスツリーが届きました。

高さ約3mの美しく輝くツリーは、洋菓子店「アンリ・シャルパンティエ」様から芦屋市に寄贈頂いたもので、この日当院ではクリスマスツリーの点灯式が開催されました。

アクリルガラスの十字架で出来たクリスマスツリーは12月25日まで当院の外来正面入口に設置し、たくさんの患者さんに楽しんで頂きました。



1

月の院内行事

芦屋病院 マチネーコンサート

※毎月1回
日曜日に開催

- 日時 ● 1月15日(日)14時30分～
- 場所 ● 外来ホール 黄色いピアノ前
- 内容 ● 「葉っぱのフレディ」朗読と音楽
- 出演 ● 出演（語り）前田伊都子
(音楽)八重崎 渚
加藤 純子 ほか

両親学級

※毎月第2土曜日
開催

- 日時 ● 1月14日(土)10～12時
- 場所 ● 3階東病棟
- 内容 ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象 ● 妊娠22週以降の妊婦と
パートナー5組
- 問合せ ● 産婦人科外来(電話は13時～16時)

糖尿病教室

※毎月第2金曜日
開催

- 日時 ● 1月13日(金)13時30分～15時
- 場所 ● 病棟2階 講堂I
- 内容 ● 糖尿病合併症
食事療法～糖尿病性腎症の食事～
- 講師 ● 医師、管理栄養士
- 問合せ ● 栄養管理室(電話は13時～16時)

冬の公開講座



時間 14時～15時30分

場所 芦屋市民センター401号室

参加費 1回200円

問合せ 芦屋市立公民館
(0797-35-0700)



日 程	内 容	講 師
1月7日(土)	①認知症の症状と治療 ②認知症者 ～その人の視点に立って～	①糖尿病・内分泌内科 片岡 政子 医師 ②認知症看護認定看護師 津久茂 康予 看護師
2月4日(土)	消化器内視鏡検査のお話	消化器内科 池田 公一郎 医師
3月4日(土)	今、増え続ける大腸癌 ～その現状と治療法～	外科 村上 雅一 医師

事業管理者 のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治文隆

にわとり

今年の十二支は酉で、動物で表記すると鶏です。身近な畜の一つで、私が子供の頃など田舎の親類の農家では、庭先で飼っていました。朝になると鶏小屋に卵を取りに行かされたものです。とれたての卵に小さな穴を開けて、生卵を吸わされることがあったのですが、生ぬるくて生臭い感触がイヤでイヤでしょうがなかったのを記憶しています。お客様があると、その鶏をつぶして(屠殺)スキヤキをふるまうのを見ると、子供心に複雑な思いを抱きました。今でこそ好物の一つの「玉ヒモ」や「玉道」と呼ばれる部分など、当時は気持ち悪くて食べられませんでした。最近はプロイラーでない地鶏それもブランド鶏肉が増えて、値段もそれなりにしますが美味しくなりました。

鶏といえば、夜明けとともに特徴のある声で鳴き、別名「時告げ鳥」の由縁です。明け方の鶏の声を真似て一命を取り止めたのが、戦国時代の中国、斉の国の孟嘗君(もうしょうくん)です。秦の国から脱出する時に、夜中に函谷関に着き、従者が鶏の声を真似て鳴き、関所の番人を欺いて門を開かせて通り抜け、追っ手から逃れました。この故事から鶏の鳴き真似を「鶏(とり)の空音(そらね)」と呼ぶようになりました。小倉百人一首の「夜をこめて鳥のそらねははかるともよに逢坂の関はゆるさじ」は、清少納言が後拾遺集で詠んだ歌で中国の故事を下敷きにしています。もっとも清少納言らしく、函谷関の関ならぬ「私と逢う坂の関は通過させませんよ」とずい分色っぽい歌です。

鶏と音楽といえば、グリム童話の「ブレーメンの音楽隊」でしょうか。ロバ、イヌ、ネコ、ニワトリが森の中の一軒家に潜む泥棒を追い出す話です。しかし音楽隊そのものは登場することなく、唯一音声らしいのは、4匹

が一斉に大声を出して鳴くシーンだけです。クラシック音楽の世界では、イタリアの作曲家レスピーギの管弦楽組曲「鳥」で、5曲構成のうち前奏曲、鳩に次ぐ3曲目に牝鶏が出てきて、夜鶯、郭公で終わります。ここでは勇ましくトキを告げる牡鶏は登場しません。野鳥のさえずりとは異なり、鶏の鳴き声はあまり音楽的ではないのかもしれません。

美術とくに日本画の世界では何と言っても伊藤若冲(じゃくちゅう)の鶏です。ざっと挙げるだけでも、雪梅雄鶏図、紫陽花双鶏図、双鶏図、菊鶏図、仙人掌群鶏図襖絵、群鶏図障壁画、虹に双鶏図など題名に「鶏」が入っているもの以外に、樹花鳥獸図屏風などにもしっかりと「鶏」が描き込まれています。昨年は生誕300年ということで、あちこちで若冲展が開かれました。伊藤若冲は私たち関西人にはおなじみの京都錦市場で代々続く青物問屋の跡取りだったそうです。老舗の子息で生活の苦労が無く作画三昧の日々を送った若冲の作風は、水墨画にも才能を發揮しましたが、何と言っても極彩色の動植物(さいえ)が特徴です。草木、鳥獣、虫魚が細密に描き込まれた作品の数々は、観る者を楽しくさせます。群鶏図に見られる13羽の鶏は羽の模様や色が多種多様に描き分けられ、実際に多数の鶏を庭に飼い、その姿、形を観察し写生を繰り返した若冲ならではの表現です。

ことわざに「鶏口牛後(鶏口となるも牛後となるなから)」とあります。小規模自治体病院である芦屋病院の行き方を示します。(2017.1.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



- ● ● 交通案内 ● ● ●
- JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅から
- タクシー 約7分
- バス 約25分
JR芦屋駅・阪急芦屋川駅 のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念
芦屋市の中心核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>